

## 単元名 割合

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを理解し、図や式などを用いて、2つの数量の関係同士を比べることができる。  
 (2) 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係との比べ方を考察することができる。  
 (3) 図や式から数量の関係の特徴を読み取って問題を解決していくことを通して、日常生活の中から、割合の関係にある事柄を見付け出そうとしている。

## 標準的な展開例

04040202\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 2つの数量の関係を比べるために、割合の考えを利用することを学ぶ。[p. 118・p. 119]</p> <p>○イルカとクジラでは、どちらの体長が伸びたといえるのか考える。</p> <p>○単元の学習課題をつかむ。  <b>★</b>ある量をもとにして、その何倍になっているかを考えていこう。          ○今のイルカとクジラの体長について、基の体長の何倍になっているのかを考える。          ○割合を知る。</p> <p>2 数量の関係の割合を図に表して、分からない量を求める[p. 120・p. 121]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。  <b>★</b>割合を図に表して、わからない量を求めよう。          ○Sサイズのフライドポテトの重さを基準にして、Lサイズのフライドポテトの重さを求める。          ○Mサイズのフライドポテトの重さを求める。          ○「練習問題」に取り組む。</p> <p>3 3つの数量の関係の割合を図に表して考える。[p. 122]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。  <b>★</b>割合をつなげた図に表して考えよう。          ○百貨店の高さを求めてから、学校の高さを求める。          ○テレビ塔と学校の高さの関係を考えてから、学校の高さを求める。          ○3つの建物の高さの関係図をまとめる。</p> <p>4 3つの数量の関係の割合を図に表して、何倍になるかを考える。[p. 123]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。  <b>★</b>何倍になるかを考えてから求めよう。          ○3人の体重の割合を図に表し、妹の体重を求める。          ○「練習問題」に取り組む。</p>	<p>・個々の数量の差ではなく、数量の間の乗法的な関係でみて、2つの数量の関係を比べさせる。          ・どちらとも3m伸びていることに注目させる</p> <p>【評】イルカとクジラの体長の伸び方を考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・数量の関係をまとめた表や図から、何倍になっているのかを式で求めさせる。          ・数量の関係を(基の体長)×(何倍にあたるか)=(今の体長)として表し、(何倍にあたるか)の部分が割合であることを知らせる。          ・基準量を1とみたときに、比較量を図や式を用いて、数量の関係を明瞭で的確に表させる</p> <p>・数量の関係を表した式や言葉の式を使い、Sサイズ(50g)を1としたとき、Lサイズ(300g)は6で表される図をまとめさせる。          ・数量の関係を図で表し、式での求め方の違いを考えさせる。          【評】数量の関係を割合の図に表して分からない量を求める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。          ・順に求めていく方法とまとめて考える方法の2通りで考えさせる。</p> <p>・3つの建物の高さの関係を図に表し、順に建物の高さを求めさせる。          ・テレビ塔の高さが学校の高さの何倍になるのかを、図を用いて考えさせる。          【評】学校の高さを求める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。          ・割合は、基準量を1とみたときに、比較量が2倍、3倍、4倍などで捉えられ、式や図などを用いて、分からない量が求められることに気付かせる。          ・図を手がかりにして、最大の数量と最小の数量の関係を考えさせる。</p> <p>・はるとさんの体重を求めてから、妹の体重を求めることもできるが、お父さんの体重は妹の体重の何倍になるのかを考えさせる。          ・それぞれの数量の割合を図に表し、何倍になるのかという視点で練習問題に取り組ませる</p> <p>【評】何倍になるのかを考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

第2学年、第3学年では、乗法、除法の意味について理解する際に、整数を用いた倍の意味についても取り扱い、「基にする量の何倍」という割合の見方の基礎を学習してきた。分数の意味においても「基の大きさの1/2」などを学習している。

第4学年では、割合が2、3、4などの整数で表される簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の

2つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることを知り、図や式などを用いて、2つの数量の関係同士の比べ方を考察する力を伸ばすことをねらいとしている。また、2つの数量の関係に着目することで、数量の大きさに対する感覚をより豊かにすることも大切である。第5学年の異種の2つの量の割合として捉えられる数量、割合、百分率などの考察に生かされるものである。